

次世代のICTリーダーを育成するには : 育成カリキュラムの普及

村上, 和彰
九州先端科学技術研究所

<https://hdl.handle.net/2324/1468222>

出版情報 : SLRC プレゼンテーション, 2014-02-12. 九州大学システムLSI研究センター
バージョン :
権利関係 :

高度ICT利活用人材育成シンポジウム 福岡
パネルディスカッション

「次世代のICTリーダーを育成するには
～育成カリキュラムの普及～」

2014年2月12日

村上和彰

国立大学法人九州大学

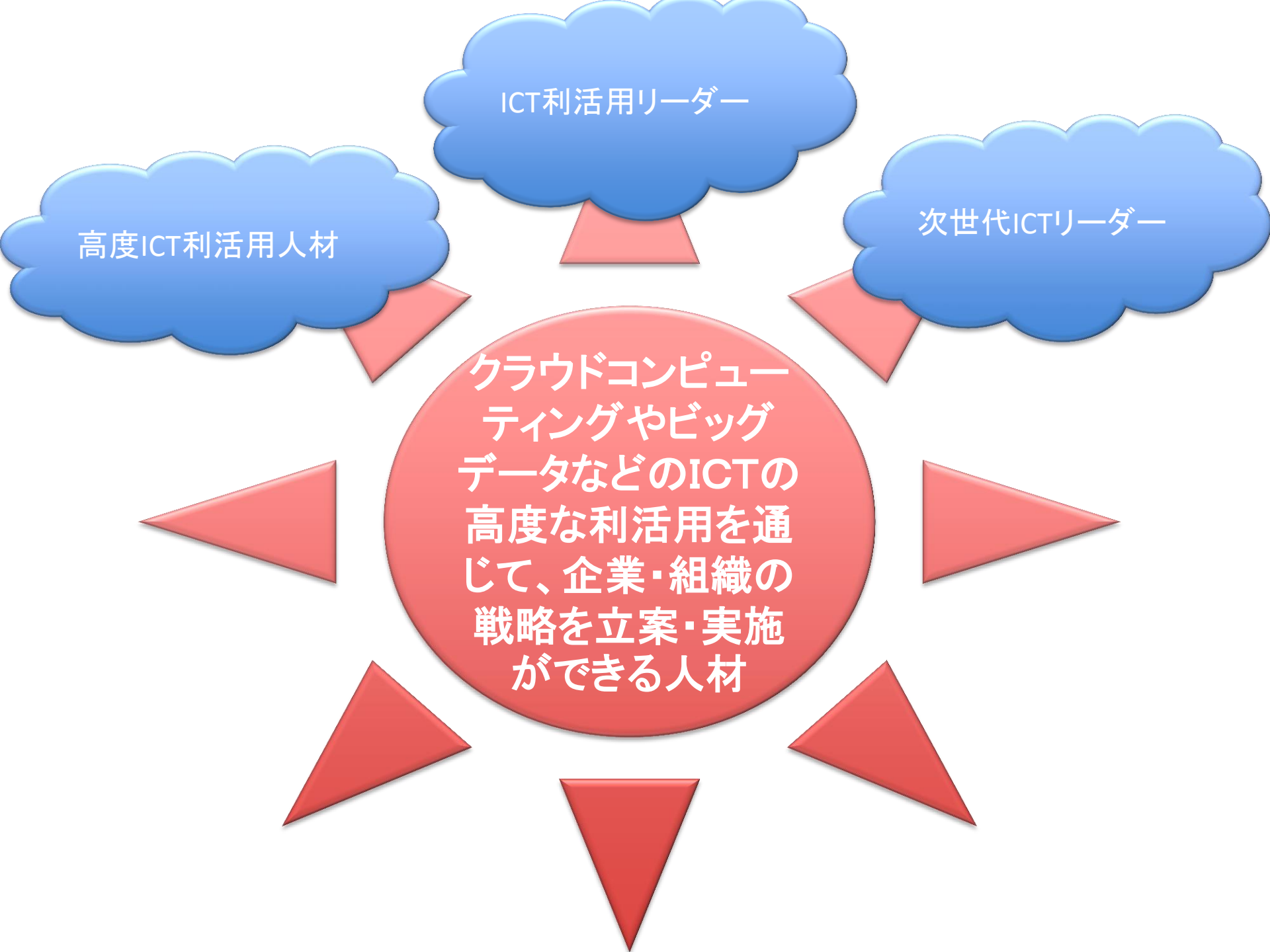
公益財団法人九州先端科学技術研究所

高度ICT利活用人材

ICT利活用リーダー

次世代ICTリーダー





では、
次世代ICTリーダー
を育成するには
どうするか？

九州大学 情報技術人材育成事業の歩み

	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)							
	【九州大学 大学院 システム情報科学府】															
				▼改組												
	■ 知能システム学専攻			■ 情報知能工学専攻												
	● 社会情報システム工学コース															
	先導的ICTアーキテクト 育成プログラム				価値創造型高度ICTフロンティア 人材育成プロジェクト											
	実践的教育協働NW															
	1期生		2期生		3期生		4期生		5期生		6期生		7期生		8期生	
	■ 情報工学専攻			● 知的情報システム工学コース												
	■ 情報理学専攻															
	■ 電子デバイス工学専攻			■ 情報学専攻												
	■ 電気電子システム工学専攻			■ 電気電子工学専攻												

日本
経団連
CeFIL

文部
科学省



分野・地域を越えた実践的情報教育協働NW

enPiT (Education Network for Practical Information Technology)

(2012年～2016年)

実践的情報技術の教育で実績のある全国15校のネットワーク

enPiT Cloud
クラウドコンピューティング分野
連携大学: 大阪大学、東京大学、
東京工業大学、神戸大学、九州工業大学

enPiT Security
セキュリティ分野
連携大学: 東北大学、JAIST、NAIST、
慶応義塾大学、情報セキュリティ大学院大学

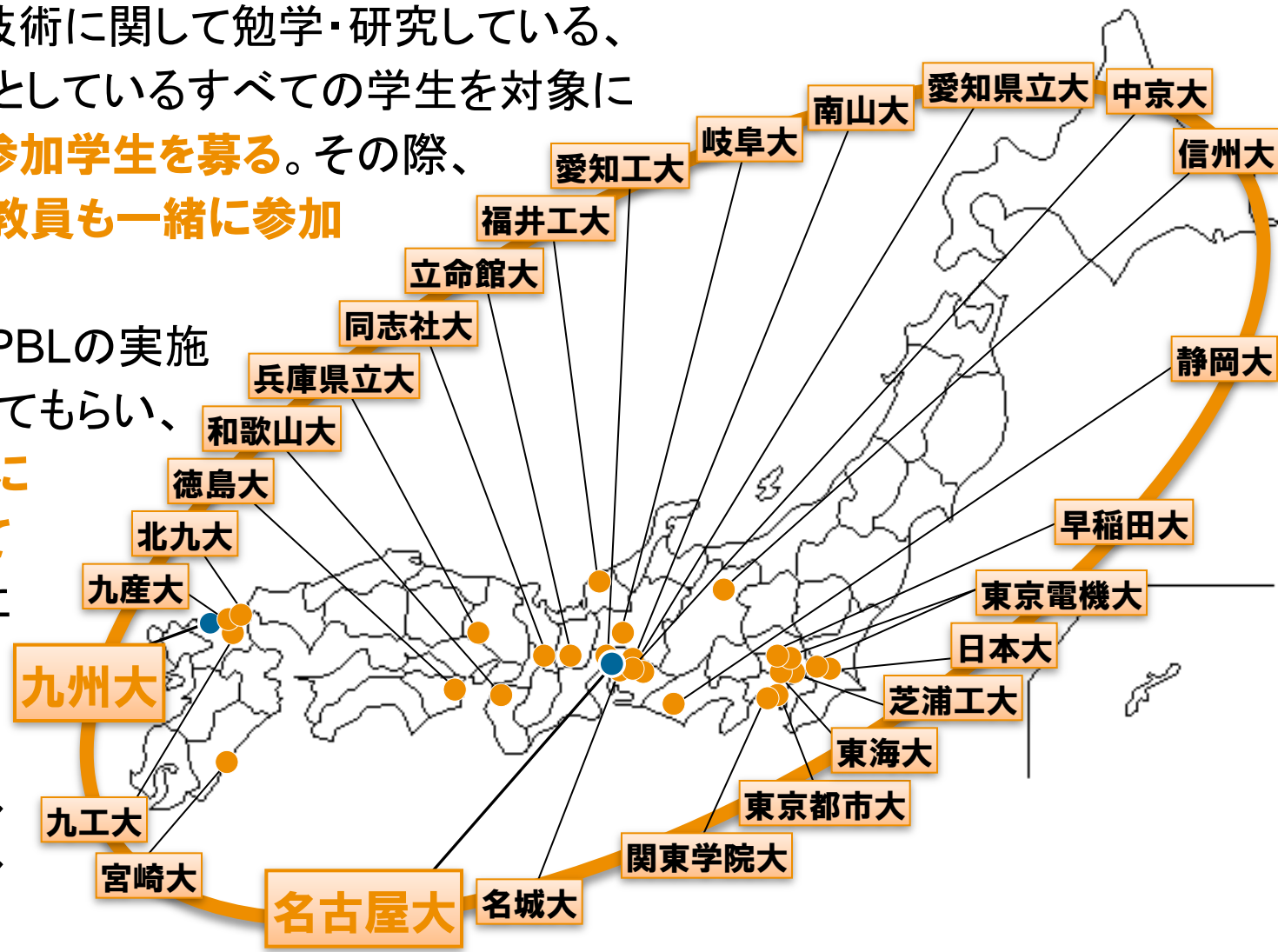
enPiT Emb
組み込みシステム分野
連携大学: 九州大学、名古屋大学

enPiT BizApp
ビジネスアプリケーション分野
連携大学: 筑波大学、産業技術大学院大学、
公立はこだて未来大学



協働ネットワークの構築

組込みシステム技術に関して勉学・研究している、
 または取り組もうとしているすべての学生を対象に
全国の大学から参加学生を募る。その際、
参加学生の指導教員も一緒に参加
 することが条件。
 指導教員に分散PBLの実施
 ノウハウを修得してもらい、
補助期間終了後に
各大学で継続して
実施できる体制に
 する。
 また、
 教材の教科書化、
 教育知見の蓄積、
 流通を進める。



人材育成システムの主要構成要素4つ



?

人的面
(教師、メンター、
チーム、等)

ソフト面
(カリキュラム、教
材、学習法、等)

ハード面
(設備、環境、等)

4つ目の構成要素にして
最大の課題は

ロールモデル
の発掘・設計・提示！

ところで、
ロールモデル
って何？

宇宙をへこませたい！



世界中の情報を整理し、世界中の人々がアクセスできて使えるようにする！



この世界で印刷されたすべての書籍、すべての言語で書かれた書籍を60秒でダウンロードできるようにする！



世界を変える！
世界中の人々がもっとオープンに、そして、もっと簡単にコミュニケーションできるようにする！



河本 薫 氏

大阪ガス データアナリシスセンター 所長

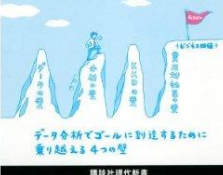


データサイエンティストというと“分析の力さえあればいいのだ”と誤解されがちですが、それ以上にビジネスマインドが求められる職種です。

データ分析力やビジネス関係の知識はもちろんのこと、現場から新たなニーズを引き出し、また分析ソリューションを現場に受け入れてもらえるよう提案できるコミュニケーション能力が非常に重要です。

会社を変える分析の力
河本 薫

分析力を武器にする
個人・組織はここが違う
第一人者が「データ分析の誤解」を解く



残った課題は
地域に根差した
ルールモデル
の発掘・設計・提示！